

第 40 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会

議事概要

1. 審議開始日

令和 4 年 1 1 月 2 日

2. 議決日

令和 4 年 1 1 月 7 日

3. 方法

持ち回り審議による

4. 議題

新型コロナワクチンの臨時接種について

5. 審議結果

武田社ワクチン（ノババックス）及びモデルナ社のオミクロン株対応ワクチン（BA. 4-5 対応型）を令和 4 年秋開始接種に位置づけることについて、賛成多数で了承された。ただし、「予防接種実施規則の一部を改正する省令案要綱」及び、「「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」（令和 3 年 2 月 16 日付け厚生労働省発健 0216 第 1 号厚生労働大臣通知）一部改正案」について、修正を付すべきとする意見があり、その旨の報告を行うこととなった。

6. 主な意見

（賛成する意見）

- ・ mRNA の追加接種を躊躇する人に、武田社ワクチン（ノババックス）という選択肢ができることは価値がある。薬食審で承認されたモデルナ社のオミ

クロン株対応ワクチン（BA. 4-5 対応型）の追加接種への使用は差し支えないと考える。追加接種用に武田社ワクチン（ノババックス）、ファイザー社のオミクロン株対応ワクチン（BA. 1 対応型及び BA. 4-5 対応型）、モデルナ社のオミクロン株対応ワクチン（BA. 1 対応型及び BA. 4-5 対応型）の複数のワクチンがある。mRNA のワクチンでは、BA. 1 か BA. 4-5 か明示されない自治体があるとも聞く。接種を希望する人が、接種場所・時間を決める時点で、ワクチンのメーカーと種類が分かることが望ましいと考える。選択肢を示せば、何を打つべきかの疑問は生じるので、情報提供資材などを使い、分かっていることを丁寧に伝えてほしい。

- ・ 接種希望者のニーズに応えるよう、ワクチンの選択の幅が広がるのであれば、承認を否定するものではなく、賛成する。ただし、使用できるワクチンが増えることによって、自治体や医療機関において、業務管理上の混同や接種過誤が起こらないよう、リスクマネジメントと住民への情報提供を適切に行うことを望む。
- ・ 対象年齢や特徴の異なる複数のワクチンの接種が可能になり、国民にとって選択肢が広がること自体は望ましいことであると考え。その際には、個々のワクチンの特徴などについても、適切に国民に対する情報提供を行い、一人ひとりが望ましい選択を行うことができるよう、対応を図っていただきたい。また、接種の現場を担う自治体で混乱が生じることのないよう、適切な対応を行っていただきたい。
- ・ 諮問事項については賛成する。実際の接種現場では、「令和4年秋開始接種で使用するワクチン」という文言だけでは、対象ワクチンを識別できないことも予想されるため、一般向けリーフレットなどでは、対象ワクチンを列挙して、「この中から1種類のワクチンを1回のみ接種できる」と説明いただくなど、分かりやすい周知の工夫をしていただくようお願いする。（例えば、これまで3回の接種を完了→これから武田社ワクチン（ノババックス）で4回目接種→3ヵ月経過してからファイザー社又はモデルナ社のオミクロン株対応ワクチン（BA. 4-5 対応型）で5回目接種、と考える方がいるかもしれないが、4回目と5回目はどちらも「令和4年秋開始接種」にあたるため、どちらか1つを選択しなければならない、など）

(修正すべきとする意見)

- ・ 武田社ワクチン（ノババックス）のワクチン接種もそれが3回目であっても4回目であっても、秋口から始まる他のオミクロン対応型mRNA ワクチンの開始に統一的に合わせる方が市町村として混乱がなくてよいと考える。
- ・ 諮問要綱では、これから武田社ワクチン（ノババックス）で3回目接種を受ける場合は、「令和4年秋開始接種」に含まれない（すなわち、その後3か月経過してから、「令和4年秋開始接種」としてファイザー社又はモデルナ社のオミクロン株対応ワクチン（BA. 4-5 対応型）で4回目接種可能）ということになっているが、現場は非常に混乱すると考えられる。これから武田社ワクチン（ノババックス）で受ける接種については、すべて「令和4年秋開始接種」と扱うほうが分かりやすいと考える。